

総務文教常任委員会

小中学校GIGAスクール事業にサポーターを依頼し 教職員の研修会やセットアップ支援実施へ

12月定例会、総務文教常任委員会では、教育委員会と公民館機能が今後西木庁舎に移転することに伴う、「仙北市公民館条例の一部を改正する条例制定」や、公の施設の指定管理者の指定、一般会計補正予算などが審査されました。

令和2年度 一般会計補正予算 主な内容

公立学校情報機器整備事業費補助金	297万円	GIGA スクールサポーター配置への国庫補助
財政調整基金繰入金	3,624万円	令和元年度決算後の余剰金積み立て
公共施設等総合管理基金繰入金	△144万円	過疎対策債の配分枠の減額
収納推進費	△263万円	特別徴収専門員の報酬等の減額
一般教育振興総務費	664万円	中学校の教科書改訂に伴う指導書と教科書の購入費
教育コンピューター推進事業費	485万円	学習指導要領改訂に対応したデジタル教科書の購入費

ここが知りたい 議論のポイント

～令和2年度～
一般会計予算の主な質疑

財政調整基金繰入金について

質問 本定例会での補正予算後の基金残高が8億7,924万円とのことだが、令和元年度末残高から繰入金を差し引くと残高が多いが年度途中で増額があったのか。

答弁 令和元年度決算後に余剰金が生じた場合は、その1/2を財政調整基金に積み立てることができることから、約2億2,600万円が加算されている。

質問 今後、国の3次補正予算で地方創生臨時交付金が交付された場合、財政調整基金に戻せるのか。

答弁 国の3次補正予算での仙北市への配分額決定後に、新型コロナウイルス対策事業の精算に合わせ、過不足調整等により財政調整基金に一定の額は戻せると想定している。

公共施設等総合管理基金繰入金について
質問 これまであまり繰り入

れたことのない基金だがどのようなものか。

答弁 公共施設の解体、改修、更新等に使用できるように、平成28年度に新設した基金である。過疎対策債のソフト事業枠2億2,000万円程の中から、充当していない残額を基金として積立している。今回の補正予算は過疎対策債の配分枠の減額によるものである。

収納推進費について

質問 昨年度5名だった特別徴収専門員が4名になったのは応募がなかったのか。また、自宅に直接出向いての納税相談などは行っているか。

答弁 昨年度末に1名が退職し募集を検討したが、滞納整理もだいたい進んでいることから今年度は4名体制とした。滞納者とは極力面談を実施して納税相談に応じることにしており、連絡があれば訪問徴収も行っている。

公立学校情報機器整備費補助金について

質問 GIGAスクール事業のサポーターは、各学校に新たに配置されるのか。

答弁 1月上旬に各学校の教職員を対象に開催するタブ

レット端末の研修会の講師や、セットアップの支援、各学校を巡回しての教職員へのレクチャー等を依頼することとしている。

教育コンピューター推進事業費について

質問 デジタル教科書の導入とは、従来の教科書の他にタブレット端末内にも教科書が入っているということか。

答弁 従来の紙ベースの教科書の他に、タブレット端末にも教科書がインストールされる。さらに詳しい資料の取り込みも可能となり、児童・生徒たちはタブレット内で拡大、切り取り、貼り付け等、自由な加工により資料の作成もできるようになる。



■タブレットを使用した教師と生徒間での実証実験

用語解説

GIGA スクール構想…児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育むICT教育を全国の学校現場で持続的に実現させる構想

市民福祉常任委員会

コロナ感染対策 無症状者の自費検査を助成へ

12月定例会の市民福祉常任委員会では、令和2年度一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算、病院事業会計補正予算等が審査されました。補正予算は、市民を対象にした無症状者の自費検査への助成金や、医療機関に対するコロナ対策費用等が盛り込まれました。

令和2年度 一般会計補正予算 主な内容

歯科診療所診療報酬	793万円	田沢湖地域の一歯科医院がなくなって患者数が増えたことによる増収
新型コロナウイルス感染症病原体検査費助成事業費	91万円	自費検査費用を1人2万円まで助成
歯科診療所管理運営費	530万円	新型コロナウイルス感染症に関する薬剤代や、診察に要する仕切り板の購入費用
不法投棄監視費	△35万円	監視員の減少による人件費の減額
放課後児童対策事業費	126万円	かしわっこクラブ（白岩小）、白樺児童会（生保内小）へのエアコン設置費用

ここが知りたい
議論のポイント
補正予算の主な質疑

不法投棄監視費について

質問 不法投棄監視員のなり手がなかったのは何が原因なのか。

答弁 昨年は、各地区3名で9名の方に依頼していたが、今年には、年齢的な事情により辞退する方が多かった。また熊の出没等が増えたため、山に入る機会が少なくなったのも要因の一つである。報酬は以前より多い金額となっている。

質問 不法投棄されたゴミの量はどれくらいか。

答弁 令和元年度はタイヤ等を含まないと540kg、タイヤホイールは、軽自動車用8本、普通自動車用9本、SUV車用6本、他に家電リサイクル対象品のようなものもあった。今年度は、何年も前からゴミが放置されていた箇所から大量に回収した。それを除いても約860kgと昨年より多くなっている。

コロナ感染症自費検査助成制度の内容について

質問 当初は65歳以上の高齢者や基礎疾患がある方に限って検査費用を助成するとしていたが、対象

を拡大することにした経緯を伺う。
答弁 市では、感染者と接触の可能性があるなど心配されている無症状の方を対象に、誰でもランブ法による検査を受けられるようになった。国からの補助（1/2）も活用することで助成範囲を拡大した。

歯科診療所管理運営費について

質問 この予算の内訳や、物品購入の内容を問う。

答弁 新型コロナウイルス感染症に関連する薬剤代や、歯科技工にかかる委託料が主なものである。歯科診療所は、近距離で患者を診察するため、アクリル製でない仕切り板を購入する予定である。



■仕切り板が必要な田沢湖歯科診療所

病院事業会計補正予算 ～コロナが病院経営へ及ぼす影響はいかに～

- ◇発熱外来用プレハブ（角館病院） ……100万円
- ◇新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（角館病院） ……5,000万円
- ◇医療提供体制整備交付金 ……195万円

質問 コロナ禍における患者数の動向と収支について伺う。
答弁 上半期では、入院患者は前年度より3,934人減少した。外来は、前年度より4,464人の減少である。また収支については、約5,789万円の赤字である。要因としては、コロナによる様々な制限や、令和2年度からの脳神経外科と小児科の常勤医不在が考えられる。

産業建設常任委員会

「冬のプレミアム観光支援事業費」に2,699万円 おみやげ・宿泊・飲食に使える観光券を発行

12月定例会、産業建設常任委員会では主に令和2年度一般会計補正予算や武家屋敷河原田家を来年度から有料で公開することを目的とした条例制定の他、水道事業会計補正予算、下水道事業会計補正予算等について審査されました。

令和2年度 一般会計補正予算の主な内容

農業水利管理体制強化支援事業費	74万円	圃場整備を行う中川地区を角館町土地改良区に編入するための補助
花葉館施設整備事業費	34万円	花葉館露天風呂の温度制御器交換工事
秋田県信用保証協会保証料補給金	175万円	仙北市（中小企業振興基金、経済対策資金）保証料補助
上桧木内紙風船上げ事業費	△309万円	事業中止に伴う補助金の減額
仙北市冬のプレミアム観光支援事業費	2,699万円	コロナ禍における冬期観光支援。市内で使用できる観光券の発行。
角館祭りのやま行事実行委員会補助金	△1,096万円	事業中止に伴い補助金の減額
旧石黒（恵）家公開事業費	2,702万円	石黒（恵）家の土地購入等にかかる経費

ここが知りたい 議論のポイント

補正予算の主な質疑

仙北市冬のプレミアム観光支援事業費について

質問 事業としての実施期間は、当然、今年度末となるが、年度内の精算を考えた場合、プレミアム観光券の利用は3月31日以前の一定の余裕を持った設定が必要と考えるがどうか。

答弁 精算期間を考慮した最大限の利用可能期間を検討する。

質問 購入可能な対象範囲は当初の全国から秋田県内に限定されたが、コロナ感染の予測は不可能である。これから執行段階に

仙北市武家屋敷河原田家条例制定について

質問 収支計画や単年度黒字に向けた集客方法など、今後の取り組みについて伺う。

答弁 武家屋敷の他の施設等の実績を参考に、5万人の利用を想定した。維持管理経費については、公開初年度だけかかる経費が約60万円程である。その分を差し引くと、赤字の部分が減少する見込みではあるが、樺細工伝承館や美術館などと連携を図りながら、武家屋敷河原田家のPRに努め集客につなげたい。単年度黒字になることが望ましいが、武家屋敷を構成する1つの施設として、しっかりと管理に努め、検温モニターの設置や消毒の徹底などのコロナ対策も万全に行いたい。



■来年度から有料公開する武家屋敷河原田家（令和3年4月1日から一般公開予定）

においても刻々とその状況も変わると想定されるが、県内で大規模発生した際の対応はどうか。

答弁 当初の制度設計時点から、新型コロナウイルス感染の動向を見て、見直し等の対応をしなければならぬと考えていた。今後、感染ステージの状況により、場合によっては事業自体を取りやめざるを得ない可能性もあると考えている。

旧石黒（恵）家公開事業費について

質問 石黒（恵）家について基金はどれくらい残っているのか。また、今後の活用と入館料について伺う。

答弁 基金は、今回繰り入れた残高が約565万円となる予定である。現在は市民の活用場として無料で利用頂いている。今後も基本的に多くの方に使って頂きたいため料金は徴収しない方針である。